

令和元年度 柏市中央公民館事業実施報告(中間報告)

令和2年2月26日現在

区分	講座名	実施日	目的・内容	対象	計画値	応募者数	参加者数	評価・検証等	備考
青少年教育事業	第6小キッズセミナー	8月22日(木)・23(金)	東京大学等と連携を図りながら、小学生を対象に、体験やものづくりを通して挑戦する楽しさや創造性を高め、自ら学習に取り組む力の手助けとなる講座を実施する。	小学生	120人	114人	114人	例年、学校と東大との連携事業として実施していた、夏休みの宿題向けの講座だったが、今年は公民館も連携事業として参加した。「生徒からは習ったことを家ででも作ってみたい」と、いう意見が多かった。このことから、今後に繋がる内容だった。	講師:東京大学の院生, 学部生
	高柳キッズセミナー	8月26日(月)・27(火)	東京大学等と連携を図りながら、小学生を対象に、体験やものづくりを通して挑戦する楽しさや創造性を高め、自ら学習に取り組む力の手助けとなる講座を実施する。	小学生	120人	74人	66人	文字、料理、モノづくり幅広い分野での体験活動を行うことができた。また、アンケートの結果から「習ったことを友達や家族と一緒に作ってみたい」、「習ったことをもっと調べてみたい」と回答した受講生が多く、今後も続けていく意欲が高いことが分かった。	講師:東京大学の院生, 学部生
	青少年講座 「柏ふれあい将棋講座」	12月21日(土)	小学校から高校生までを対象に、将棋を通して多世代交流を図りながら将棋の楽しさを体験する。	小学生 中学生 高校生	20人	16人	14人	講師と受講生が将棋の対局を通して、多世代交流を図ることができた。また、受講生同士での対局の中で相手にアドバイスする場面も多く見られ、お互いにスキルアップしていこうとする意識の高さを感じることができた。	講師:柏中央将棋同好会
成人教育事業	日本語教室	通年(8月を除く)	柏市で暮らす外国人に日本語を習得していただき、日常生活を円滑に送るための外国人対象の講座。	外国人	640人	-	延べ 266人 (1/30現在)	8月を除く毎週木曜日の午後及び夜間に実施。今年度も新規受講者の登録が増加している。外国人が日本での生活に必要なレベルをマンツーマン形式で教えているため好評を得ている。	講師:日本語教室ボランティア講師
	いきいき健康ライフ講座 (食育講座)	現代課題講座として実施	今年度は現代課題講座とし、「発酵食品で健康ライフ」と統合事業として実施した。	成人				現代課題の「発酵食品で健康ライフ」	
	かがやきセミナー(前期) 「柏の魅力を知り、柏の魅力をつたえよう」	7月10日(水), 7月17日(水)	地域の魅力づくりを学び、みんなでボランティアガイドを経験してみる。	成人	15人	13人	延べ 39人	ボランティアガイドに関する講話を聴き、柏の魅力あるポイントコースの体験学習を通じてボランティアガイドの実践を学び、その成果としてボランティアガイドの実習を行い、受講者からは今後もガイドとしてのボランティア活動を続けていこうという意見が出された。	講師:観光プロダクション 高橋昌代
	かがやきセミナー(後期) 「かしわの魅力を知ろう」	11月13日(水), 11月20日(水)	地域の魅力を知る。柏市内の大井地区と南柏地区を歩いて自然環境、旧所名跡などを知る。		20人	11人	延べ 17人	二日間にわたって大井地区と南柏地区を、かがやきセミナー前期の受講者によるボランティアガイドで巡り、柏に住むにもかかわらず柏の魅力あるポイントを知ることができ、参加者から好評を得た。	講師:観光プロダクション 高橋昌代 ボランティアガイド(かがやきセミナー前期受講者)
家庭教育事業	親子クッキング教室	11月30日(土)	小学生の親子を対象に、料理作りと食べることを通して、食の大切さを学ぶ。	親子	24人	58人	24人	1テーブル2組の親子で協力して料理作りをすることができた。アンケートの結果から「家で料理を作りたい。」と回答した受講生が多く、今後の料理作りのきっかけとなる講座になった。	
	わくわく人形劇まつり	11月17日(日)	人形劇を中心にお話や紙芝居の世界を通して、子どもの情操教育、親子のふれあいを図る。	親子	1,000人	-	641人	会場と日時が例年と異なったが、多くの参加者があった。また、こども図書館の来館者で参加する方もおり、新規参加もあった。	連携:柏子どもの文化連絡会
	家庭教育セミナー(子育て支援講座含む) 「子育てすころくトークで心を軽く〜」	12月7日(土)	子育てに関するあらゆる課題と向き合い、家庭で抱える様々な課題解決に寄与する。	市民	30人	1人	-	応募者数が極めて少なかったため中止。原因として、開催日時が幼稚園等のクリスマス会と重複していたこと、会場のしこだ児童センターに駐車スペースがなく公共交通機関での来場を呼び掛けたこと、内容の需要が少なかったこと、簡単な応募方法でないことが考えられる。	講師:生涯学習課生涯学習専門アドバイザー 石井 礼子
	家庭教育セミナー(子育て支援講座含む) 「時短料理でラクしちゃおう！」	3月10日(火)	子育てに関するあらゆる課題と向き合い、家庭で抱える様々な課題解決に寄与する。時短料理を習得していただくことで、親子でのふれあいや、ほっと一息できる時間をつくる。	市民	30人	20	10	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	料理愛好家 西部 光美
高齢者教育事業	生涯いきいきセミナー(前期) 「今からはじめる音楽レッスン」	6月5日(水), 7月3日(水), 8月7日(水), 9月4日(水)	生涯学習による仲間づくり生きがいのある、充実した明るく楽しい人生を送る機会を提供する。	高齢者	30人	51人	延べ 150人	レッスンを通じて発表の機会を持ち、自主活動への一助とすることを目的として企画したものだったため、受講者も自主活動を目指しているかたが大半だったことから、目的は達成できた。	講師:藤井孝子
	生涯いきいきセミナー(後期) 「寸劇で学ぶコミュニケーション(シニア編)」	10月2日(水), 11月17日(水), 12月4日(水), 1月15日(水)		高齢者	20人	15人	延べ 45人	民話「浦島太郎」をモチーフとして、受講者自らが自由な発想で劇を組み立て、寸劇の手法を取り入れたアドリブで、新たな「浦島太郎」を完成させた。受講者の達成感と今後もみんなで一緒に活動していこうという意欲が強く感じられた。	講師:インプロシアターTILT 俳優 高安 智実 講師:インプロシアターTILT 歌手 アサコ
地域づくり事業	公民館フェスティバル	9月28日(土)	公民館を拠点として、各種の取り組みを行っている団体・サークルが一堂に会して日頃の活動成果や作品などを発表。また、体験教室などを通じて、市民に公民館活動を啓発し、会員相互及び市民との交流を図る。今年度は中央公民館の耐震改修工事のため、パレット柏で開催。	市民	700人	-	730人	今年度は「ばれっと柏」に変更して開催した。実行委員会形式で実施し、若年世代への呼びかけにより、公民館利用団体やサークルと来場者の交流を図ることができた。また、駅前施設だったため、「初めてサークルや団体の活動を見ることができた。」、「一緒に参加できて楽しかった。」などの、声が多かった。	中央公民館フェスティバル 実行委員会
	パソコン講座	通年 19講座	高度情報化社会において、日常生活の中でパソコン操作は欠かせないものとなっている。当該講座を通して、日常生活で役立つパソコン操作を習得し、生活をより豊かにすることを目的として実施する。(人材と講座をSNS UP→SNSはパソコン講座に生かせる。)	市民	220	351	188	今年度は、会場を沼南保健センターで実施した。インターネットやWi-Fiの設備のない環境だったが、申込者は多かった。一回の定数が10名だったため、全人数は減少しているが、参加する方のレベルが上昇しているのが感じられた。	パソコンボランティア講師
	豊四季台ぐるるフェスタ2019 「みんなが主役のまちづくり」	11月2日(土)		豊四季台 地域近隣 にお住まい のかた	100人	-	44人	講演会を通して、現在の生活習慣を振り返るきっかけに繋がったことがわかった。なお、参加者の年齢が高かったため、講演会テーマの期待度は低いことが感じ取れた。	東京大学大学院教育学研究科:教授 牧野 篤
	現代課題講座 「水彩一筆画を楽しむ」 会場:豊四季台近隣センター	12月2日(月)・9日(月)		市民	30人	12人	延べ 20人	一人ではなかなかできないことを、講座を通して絵を描く楽しさを体験したことで、今後も続けたいとの意見が多かった。講師を通して定期的な活動につながる事ができた。	絵本作家:長縄 えい子さん
	現代課題講座 「発酵食品で健康ライフ」	12月5日(木)・12日(木)	地域学習を通じて地域づくりや地域との協働を図り、地域相互に連携・協議して、学び合い、支え合い、住み良いまちづくりの推進を目的として実施する。	市民	18人	11人	延べ 22名	甘酒の作り方や、みりんを使ったコンポートは、講話だけでなく実技を通して学ぶことができた。家庭でも簡単に作れ友達などに広げられる内容だった。また、今後も発酵食品について学んでいきたいとの意見が多かったことから、地域の活動へ広がることが見込まれる。	一般社団法人日本麹文化協会理事:大瀬 由生子
	現代課題講座「お笑い一芸百選」	1月14日(火)・28日(火)		市民	30人	9人	14	今回の講座は、円滑なコミュニケーションを生み出すきっかけになった。参加者から「知り合いになれた方と今後もお付き合いしていきたい」、「今後も自宅で続けたい。」などの感想があったことから、事業目的を達成できた。なお、2解明の参加人数が少なかったが、悪天候によるものが要因と考えられる。	インプロシアターTILT 高安 智美さん・荻野 亜沙子さん
	講演会「地域と共に歩む学校づくり」	1月24日(金)		豊四季台 地域のか た	40人	-	36	講演会に参加した90%以上のかたが「今後の参考になった。」と感想を述べていたことから、大変好評だった。また、今後の地域と学校が協働して支え合い、住み良いまちづくりのきっかけになった。	東京大学大学院教育学研究科:教授 牧野 篤